

進捗
NOW!!

県政と市政

信号機2基の設置が実現



一つ目は、つるせ台小学校前の信号機。「押しボタン式」から「定周期」に変わります。ここは以前から、車の接触事故が発生し、ご心配をおかけしました。何度となく埼玉県警察本部に要望し、今般、実現に至りました。時間がかかりましたことに心から、お詫びを申し上げます。

もうひとつは、羽沢3丁目ヤオコー前に「押しボタン式」信号が設置されます。

信号機設置は県の予算です。例年、県内各地より信号機設置の要望が沢山、寄せられます。一方、県の予算は限られています。加えて、信号機設置には道路の幅員など絶対的な基準があります。そのため、信号機設置は大変難しいという現状があります。その様な状況の中、2基の設置が決まりました。

市民の皆様の熱意、そして、市、市議会など関係者の皆様の支援の成果と感謝申し上げます。

国道254バイパス 下南畑で (和光富士見バイパス) 橋脚工事が進んでいます。

富士見市側の橋脚(3脚)工事が行われています。再来年早々には志木側(3脚)も含めた全ての橋脚工事を完了する見通しで、残るは橋を架けるばかりとなります。和光市までの早期開通に今後も全力で取り組みます。



国道254バイパス

これからの 旧・埼玉県立富士見「青年の家」



▲びん沼公園から
見た青年の家

「びん沼荘」横の旧・埼玉県立富士見「青年の家」が解体となります。

解体費用(約1億4千万円)を県が負担し、その後の有効活用のプランは富士見市に費用を負担してもらおうという、市と県の連携プレイで進めることが出来ました。

7月には、「青年の家跡地等整備推進会議」が市に設置され、県の職員も加わり、プランの策定を進めています。11月着工。2018年3月完了見込。

横断歩道などを塗り替え

横断歩道などの道路標示には県の予算で対応するものがありますが、その中には摩耗して見えにくくなっているものがあります。

今回、交通量が多く、摩耗が激しい箇所60数か所について、塗り替えをしてもらえることとなりました。

引き続き、子ども達をはじめ、市民の皆様の交通安全に全力で取り組みます。



埼玉県 富士見市

埼玉県議会議員

かねこ勝

Prefectural government report of Masaru Kaneko.

県政報告
vol.2

県政を身近に!

討議資料

発行:埼玉県議会自由民主党議員団 かねこ勝県政事務所

TOPIC 県政報告トピック

- 県政一般質問。かねこ勝、初登壇!
- 平成29年度予算のポイント
- 「埼玉県虐待禁止条例」を可決



市民の皆様、いつも変わらぬご支援、有難うございます。

お陰様で県議会議員を仰せつかりまして一年が経ちました。先の6月定例議会では、知事はじめ県の執行部に、直接、地元問題などを質す、県政一般質問の機会も与えられました。今回は、その質問やこの間に議会で審議されたことなどを、皆様にご報告をさせていただきます。

なお、旧・埼玉県立富士見「青年の家」跡地利用や国道254バイパス(和光富士見バイパス)の延伸など、県の事業が目に見えて富士見市で展開され始めました。まだ目に見えてきませんが、水面下で進んでいる県の事業もあります。富士見市は県の予算を得て、これからますます発展します。

私、かねこ勝は、これからも、富士見市と県のパイプ役として、引き続き全力を尽くして参ります。何なりと、皆様の声をお寄せ願います。

金子勝

勇気をもって前へ!

Prefectural government report of Masaru Kaneko.



【かねこ勝プロフィール】

昭和35年富士見市で生まれる
 鶴瀬小学校、富士見台中学校、県立川越高校卒業。
 昭和54年明治大学政経学部経済学科に入学
 近代経済学を学び、ゼミでは比較政治学を研究。
 サークルは雄弁部に所属。大学3年時、東京大学総長杯争奪
 全国学生弁論大会で優勝、学生チャンピオンに。
 昭和58年4月みずほ銀行(旧・第一勧業銀行)に入学。
 上野・銀座支店などの営業店ならびに本店の審査、企画部門
 などに約20年間勤務。また、この間、伊藤忠商事(2年間)への
 出向も経験。
 平成17年3月富士見市議会議員に当選(3期)
 平成28年7月埼玉県議会議員当選

【発行】 かねこ勝県政事務所

〒354-0034 埼玉県富士見市上沢1-17-30

TEL&FAX 049(255)2527

✉ masaru.ih@tbc.t-com.ne.jp



勇気をもって前へ!

Prefectural government report of Masaru Kaneko.



埼玉県議会ホームページ
http://www.pref.saitama.lg.jp/s-gikai/index.html



県政 について

県の資金調達(借金)について

史上初のマイナス金利が導入され、長く低金利が続いている。契約の上でも、見直しが可能なものにもかかわらず、今も、**高い金利で据え置かれている借金**については、金利引き下げの交渉をすべきでは。



県の答弁 今の水準に比べて高金利(1.50%以上)の債務は1,072億円。また、その内の199億円は金利の見直しや繰上償還(他金融機関への切り替え等)に対する違約金の規定はない。金利引き下げはコスト削減につながる一方、金融機関との借入条件への影響が懸念される。他団体や金融機関の意見を聞き、研究していく。



かねこの見解

金融機関に勤務していた私からすると、この答弁は銀行より？
約定書で金利交渉の余地が担保されている以上、銀行は金利が上昇すると借主に引き上げの交渉してくるのが通常です。だから、借主も下がった時には下げて欲しい、と交渉するべきと考えます。
お金の価値が高いデフレの時は尚更、と判断します。仮に、答弁にある**199億円の金利が0.1%下がると年間約2千万円、利息が軽減**されます。

キャッシュマネジメントシステムについて

県には一般、特別、企業の三つの会計がある。これは3つの会社からなるグループ企業であることに等しい。従い、各会計の独立性は堅持しつつ、資金については連結ベースでお互い融通し合うシステムを整備し、外部からの資金調達コストを削減しては。
民間企業では、このようなキャッシュマネジメントシステムと呼ぶシステムを既に導入している。将来、高金利時代が到来した際には、コスト削減効果は大きいと考える。



県の答弁 提案の通り、資金調達については、連結ベースでコストの削減に努める視点は重要である。金融機関からの借入や基金の運用に加え、キャッシュマネジメントの手法は、金利上昇局面や資金不足額の拡大時における有効な選択肢の一つと考える。今後、研究していきたい。

職員の主査級昇任試験について

相応の経験とノウハウ、知見を身に着けた職員がより責任ある立場で職責を果たすには向上心が大切。従い、主査級昇任試験は、受験資格を得たものは基本的に全員がチャレンジすることが望ましい。
受験率は上がっているのか、又、男女で受験率に差はあるのか。女性職員の受験率が低いと女性幹部を増やすという県の方針が上手く機能しないのでは。



県の答弁 受験率は、1986年度までは50~60%の間を推移し、昨年度は66%。試験開始当初は女性の受験率は10%未満だったが、昨年度は45.7%(男性76.9%)。

かねこ勝、初登壇!

県政に関する質問を3点、地元富士見市に係る質問を2点、取り上げました。



市政 について

砂川堀の治水対策について



昨年の台風9号で砂川堀が越水し、山室地区などで床上、床下浸水の被害が出た。この抜本的な対策としては、砂川堀から新河岸川への放流量を増量させる合流地点の改修が不可欠。
どの様な治水対策を講ずるのか。また、豪雨時の住民への情報提供も改善も必要では。



県の答弁

新河岸川への放流量の増量が必要と認識している。放流量を今の毎秒3.5mから6.5mとするための合流地点の改修と砂川堀堤防の改修を来年度に着手に向け、現在、設計業務を進めている。
また、情報提供については、監視カメラや水位計の設置場所の見直しを進め、同時に、それらの情報を住民に提供するためのシステムの構築も進め、改善を図る。



旧・埼玉県立富士見「青年の家」について

「青年の家」の解体費用が今年度の県予算に計上されたことに感謝する。
市の願いはこの跡地を富士見市民のために有効活用させてもらうことだが、この要望は聞き入れてもらえるか。



県の答弁

旧・富士見青年の家の跡地の公共的な利用が進むよう、富士見市に対して積極的に協力していく。

平成29年度の予算

ここに注目!



埼玉県の
今年度予算は

現状認識

を踏まえ

将来の
埼玉県

を見据えた

未来への
投資

と位置づけられた
予算です。

埼玉は…

- 鉄道網、交通網が充実、発展しています。
- 高齢化のスピードが日本一です。
- ラグビーワールドカップと東京オリンピック・パラリンピックの開催地です。

希望と安心 活躍と成長

うるおいと
誇り

<29年度予算のポイント>

- ・人口構造の変化への挑戦
- ・強い埼玉経済
- ・地域の安心、発展

予算規模	一般会計
	1兆8,644億円(前年比▲0.9%)
	全会計合計(一般会計・特別会計・企業会計)
	2兆7,371億円(前年比▲2.6%)

●出産、子育て支援

- ・不妊治療への支援 ……1,699百万円
(不妊検査費用の助成などを行うウェルカムベイビープロジェクトの推進)
- ・保育園への受入枠の拡大(6,109人分) ……6,013百万円
- ・私立学校における教育費負担軽減のための助成 ……12,058百万円
- ・多子世帯による住宅取得支援 ……313百万円

●シニアの活躍推進

- ・アクティブシニアの「地域デビュー」の支援 ……47百万円
- ・シニアへの就業支援 ……186百万円

●地域経済の活力UP

- ・空き店舗ゼロプロジェクトの推進 ……15百万円
- ・非正規雇用者の正規雇用化促進 ……36百万円
- ・埼玉農業の競争力強化 ……142百万円
- ・オリンピック・パラリンピック開催に向けた準備 ……122百万円

●危機への備えの強化

- ・激甚化する水害への対応 ……1,000百万円

「埼玉県虐待禁止条例」を可決

現在、県内の児童、高齢者および障害者に対する虐待件数はいずれも増加傾向にあり、虐待は後を絶たない状況です。



虐待をなくすためには、虐待はいかなる理由があっても禁止されるものであるという認識を県民全体で共有する必要があります。そのためには虐待を絶対に許してはならないという強い姿勢を県が率先して示していく必要があります。そこで、虐待の防止について基本的な事項を定めることなどにより総合的に施策を推進するため、本条例案が、自由民主党県議団が提案し、全会派一致で可決されました。

なお、**虐待全般を網羅的に一本化して条例を制定するのは、都道府県で初めて**です。(施行:平成30年4月1日)

お医者さんに行くべきか迷ったらまず相談!!

埼玉県の救急電話相談

突然のけがや体調の変化は不安が募るもの。そんなとき、家庭での対処法や、すぐに受診すべきかどうかを看護師の相談員に相談できます。

平成29年10月から **24時間365日 相談対応**

#7119

ダイヤル回線・IP電話・PHS・県境の地域でご利用の場合は **048-824-4199**

子供の相談 大人の相談 医療機関案内

引き続き#7000、#8000の番号も利用できます。

【利用上のお願ひ】救急電話相談は、電話でアドバイスを行い、相談者の判断の参考としていただくもので医療行為ではありません。あらかじめご理解のうえ、ご利用ください。

【お問合せ先】埼玉県保健医療部 医療整備課 TEL:048-830-3559 FAX:048-830-4802
【協力機関】一般社団法人 埼玉県医師会、公益社団法人 埼玉県看護協会、県内医療機関